

武蔵工業大学後援会誌

Mi-GOM

No. 27

2003-1



創立 75 周年に向けて、進化し続ける武蔵工大。
再開発計画が進む世田谷キャンパスで第 73 回 MI - TECH 祭が行われた。
テーマは『兆』。明るい兆しが熱気となって、
ストリートパフォーマンスにも力が入る、寒さをも吹き飛ばす。

後援会副会長挨拶



武蔵工業大学後援会副会長

神山次郎

“大学冬の時代”を暖かく過ごそう

年が明けていよいよ受験シーズンが本格化する。

“大学冬の時代の到来”と言われて久しいが、

今年も学生確保のために大学間で熾烈な競争が繰り広げられる。

どの大学も新学部設置、学部・学科の改組、学生を主体としたカリキュラムの編成、就職支援体制の強化等々、学生の満足度を高めるための対策に種々創意工夫をこらし生き残りを図っている。

しかし保護者の目からすれば、大学に期待することは従来からそう大きく変わっていない。

すなわち大多数の保護者は、自分の子供達が大学生活において

専門的な知識や技術並びに幅広い教養や知恵を修得すること

少しでも合理的な考え方や判断力を身につけること

一生付き合える友人を得るとともに各種集団生活を通して社会性を身につけること

修得した知識や技術および経験等を生かし希望する企業に就職すること等、

出来るだけ高い付加価値をつけるよう願っている。

その願いを実現するために、保護者は当然大学の教育力に期待しているし、

それ以外に後援会も積極的に大学を支援すべきだ、と考えている。

つまり専門教育や教養教育といった本業としての教育そのものは、何と云っても大学のティーチングスタッフや教育施設設備に全面的に頼らざるを得ないが、正課外活動、大学祭、就職活動等といった分野においては、まさに後援会の出番があると承知している。

私事で恐縮であるが、長男が武蔵工大で6年間実に“良い”教育を受けた。“良い”という意味は、前述の保護者の大学への期待に照らし“十分満足のいく成果を挙げて頂いた”という意味である。

当然保護者は仲間内で“武蔵工大の教育の良さ”を積極的にPRする。しかもこれは成果に基づくPRなので説得力があり“口コミ”でどんどん広がる。長男も今後は同窓生として母校の評価をさらに高める責務を負っている。

三男が理系を希望したとき我が家は“武蔵工大第一志望”を即決した。長男同様充実した大学生活を送って欲しいと願っている。勿論、この場合も“子供を大学に預けっぱなし”というわけではない。

大学との連携による保護者の役割がある。これを怠ると折角の教育効果が半減する。

要するに、「大学、同窓会、後援会の三者が、相互に“信頼”しつつ、

それぞれが在学生の付加価値を高める目的で、それぞれの使命を果たしていけば

“大学冬の時代”も暖かく過ごせるのではないか。」と声を大にして申し上げたいのである。

9月28日(土) 世田谷、横浜の両キャンパスで東京・横浜地区「父母との連絡会」が行われました。

「父母との連絡会」は大学と後援会の協力体制のもと、

夏休み前から全国各地で行われるもので、例年、両キャンパスが最終開催地になっています。

キャンパスの日常の雰囲気を知ることができる絶好の機会とあって、

今年も多数のご父母が参加されました。その模様をレポートしてみました。

※ 世田谷キャンパスでは 例年とは異なるプログラムが ご父母に好評を博す

世田谷キャンパスにおける「父母との連絡会」は、昨年まで午前中に学内見学、昼には学生食堂の試食、午後から14号館(体育館)での全体説明会……という流れで行われていました。しかし今年は創立75周年記念事業の一環である「世田谷キャンパス再開発計画」の第一段階として、14号館(体育館)が増改築工事の真っ只中にあるため全体説明会が行えず、例年とはかなり異なるプログラムとなりました。なお、新たに生まれる新14号館は、体育館と食堂等の機能を併せ持つ建物へと生まれ変わり、竣工は2003年3月の予定です。

受付時刻も例年より遅めに設定され、12時30分からスタート。とはいえこの時間以前よりキャンパスに来られたご父母も見受けられ、そうした方々は個人的に学内の施設を見学されていたようです。

最初に、学科別全体説明会が用意され、ご父母は学科ごとに割り振られた教室に移動。ここで各学科の主任教授から大学全体の動向や学科についての説明を、就職担当教員から就職状況および就職対策カリキュラムの説明を受けました。本



※ 学科別全体説明



連絡会に何度か参加されているご父母より「体育館でひととめに行う例年より、今回のほうがより具体的な情報を得ることができた」という声が聞かれるなど、おおむね好評を博したようです。

続いて、学科、学年別の説明・懇談会の時間です。ここからは学科だけでなく、学年別にも教室が分かれ、授業内容等について、担当教員からさらに詳細な説明がありました。教室によっては、ご父母から活発な質問が飛び場面も見られ、和気あいあいとした雰囲気ながらも、大学での教育に対する高い関心がうかがえました。

その後は希望者の方を対象に、個人面談会も実施。すべてのスケジュールの終了予定は15時頃でしたが、その後1時間以上たっても学内を見学するご父母の姿がそこかしこに見られました。



※ 各学科ごとに受付が済まされます。



※ 雨上がりのキャンパスを散策。



参加されたご父母の方々の感想

世田谷 キャンパス

※ 松本 啓君(土木4年)のお母さん



毎年参加していますが、今回が一番充実していたような気がします。全体説明会や学内見学も有意義だと思いますが、今年のように学科や学年ごとに分かれて説明を受けるほうが、武蔵工大の現状をより深く理解できました。

※ 梁瀬 久史君(エネ基礎2年)のお父さん



思いのほか参加者が少なかったのが残念。今回話を聞く限り、就職率が良いとのことなので親としてはひとまず安心できました。都内にありながら学内環境もいいですね。新設される体育館や学生食堂にも期待しています。

※ 落合 秀輔君(機械システム4年)のお母さん



今回が初めての参加。大学での研究内容などについて息子があまり話してくれないことを少々寂しく感じていましたが、今回、息子の研究室の先生とお会いすることができ、何を学んでいるか把握できたのが良かったです。

※ 山本 剛嗣君(建築2年)のご両親



校舎は少々古いような感じでしたが、都内にある大学としては緑が多く残り、まずまずの雰囲気なのではないでしょうか。こういったところでゆっくり学生生活を送ることができる息子は、幸せだと思います。

※ 橋本 勝史君(機械3年)のご両親



先生の説明の中で「武蔵工大の学生は積極性に欠け、おとなしすぎる」との言葉が印象に残っています。息子にもっと覇気を出すようにとはばをかせなくては、それと単位を落とさないようにと強く申し伝えておきます。

※ 大脚 隆弘君(電気電子3年)のご両親



3回目の参加となりますが、今までが一番内容が濃かったと思います。とくに学科や学年別の説明会では各先生方が熱心に話してくださり、少子化や就職などの問題に対し、大学側は全力で立ち向かっていると実感しました。

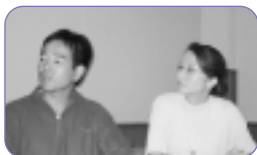
※ 山田 麻衣子さん(電子通信4年)のお母さん



前回参加したときは体育館での説明が聞き取りづらかったのが残念でした。今回は学科や学年ごとの説明会となり、話も聞きやすく、指導内容などもより深く理解できました。来年も今年と同じ形式でやってほしいですね。

横浜 キャンパス

※ 笹子 明日香さん(情報メディア1年)のご両親



キャンパスに来るのは初めて。今年から新設された学科ですから、娘がそこで何を学び、それがどう将来に生かせるかがとても気になるところ。このような説明会は非常にいい機会だと思って、夫婦揃ってやってきました。

※ 小島 孝恵さん(情報メディア1年)のお母さん



すでに何度か訪れたことのあるキャンパスですが、相変わらずきれいですね。先ほどのお話では、就職活動の一環として各種資格の取得をバックアップしていると聞きました。娘にも上手に資格を取ってほしいですね。

※ 保田 雄亮君(情報メディア1年)のお父さん



先生はとても個性的な方ばかりですね。授業もきっと面白いことでしょう。ただ、贅沢な設備が揃った環境下でさまざまな分野の勉強をするのもいいけれど、基礎学習にももっと力を注いでほしいという気もしました。

※ 鈴木 雄士君(情報メディア1年)のお父さん



敷地をうまく使い、最新の教育施設がコンパクトにまとめられていますね。就職率では工学部より若干数値が落ちると聞きましたが、就職担当教員の先生が日本企業の現状をよく理解されているようで、安心しました。

※ 斎藤 潤一君(情報メディア1年)のお父さん



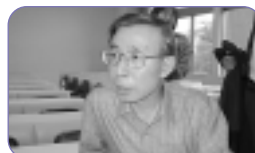
施設の充実ぶりが凄いですね。とくに「ミニプレゼンテーションラボ」からはマルチメディア教育の最先端を実感できました。先ほど学生食堂で中華丼をいただきましたが、息子に聞いていたよりずっとおいしかったです。

※ 伊藤 一誠君(環境情報2年)のご両親



今回は大学生の親としての心構えを学ぶこともできたようで、非常にありがたいと感じています。本当に面倒見のいい大学なんですね。就職活動はもちろんだ切ですが、息子にはまずは学生生活を満喫してほしいですね。

※ 金子 哲也君(環境情報4年)のお父さん



息子が1年生のときはちょっと寂しい感じもしたキャンパスですが、新しい校舎もできたせいか、かなりにぎやかな雰囲気になりましたね。今年から学科が2つになりましたが、将来はもっと増えていくといいですね。



平成14年度の就職動向と指導

今年度の就職戦線は、就職協定が廃止されて5年が経過したが、長引く景気の低迷、企業の業績の悪化から新卒採用計画は6.3%減と、3年振りに減少に転じた。大卒は全体で1.5%減、文科系7.2%減、理工系7.8%減と文理ともに減少となっている。(日本経済新聞社調べ)しかし、企業側の採用活動のキーワードである「早期化」「厳選化」「多様化」「ミスマッチ是正」が進んでいる。会社説明会・採用選考・内定出し日程の前倒し、能力(コミュニケーション能力)・意欲等の資質重視、専門性を問う職種別・事業部別採用、さらには、近年社会問題化している早期離職に対する歯止めとして、十分な企業理解(仕事理解)のため採用選考とは切り離れたオープン

セミナー(12月以降)が熱心に開催された。また、一部大手企業で新たな採用手法として採用直結型の「インターンシップ(就業体験)」を導入する企業も現れた。この環境下、今年度の就職指導においても、特に個別面談に重点を置いて実施した。その具体的な内容は、エントリーシート及び履歴書(自己紹介書)に基づき、自己の「強み」を卒論(修論)・学生時代の主な取組み・自己PR(性格の長所)そして志望動機(企業理解)の項目において明確に個人的に表現出来るかという確認であった。早い時期からの十分な自己分析・企業理解が就職内定の最大のポイントであることを学生に指導することが出来た。

平成14年度求人就職内定状況(平成14年12月2日現在)

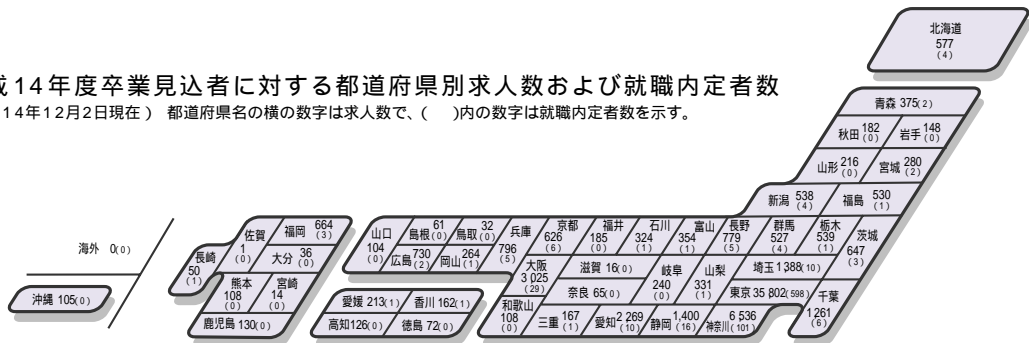
学科・専攻	項目	就職希望者	内定者	内定率(%)	求人企業数	1人あたりの企業数	求人数	1人あたりの求人数	進学希望者	進学決定者
工学部	機械工学科	107	99	92.5	2,696	25.2	5,271	49.3	42	31
	機械システム工学科	68	59	86.8	2,572	37.8	5,068	74.5	24	22
	電気電子工学科	53	44	83.0	2,841	53.6	5,514	104.0	47	38
	電子通信工学科	86	75	87.2	2,612	30.4	5,148	59.9	29	24
	電子情報工学科	79	68	86.1	2,506	31.7	4,959	68.8	23	20
	建築学科	93	64	68.8	2,101	22.6	4,226	45.4	49	35
	土木工学科	68	62	91.2	2,032	29.9	4,052	59.6	34	30
	経営工学科	111	80	72.1	2,124	19.1	4,249	38.3	19	18
	エネルギー基礎工学科	30	26	86.7	2,014	67.1	4,076	135.9	33	23
	小計	695	577	83.0	21,498	30.9	42,563	61.2	300	241
大学院工学研究科	機械工学専攻	29	28	96.6	1,348	46.5	2,587	89.2	0	0
	機械システム工学専攻	24	24	100.0	1,318	54.9	2,544	106.0	1	1
	電気工学専攻	75	75	100.0	1,442	19.2	2,739	36.5	3	2
	建築学専攻	26	18	69.2	922	35.5	1,836	70.6	0	0
	土木工学専攻	28	22	78.6	907	32.4	1,803	64.4	0	0
	経営工学専攻	16	15	93.8	1,027	64.2	2,030	126.9	0	0
	原子力工学専攻	16	13	81.3	958	59.9	1,916	119.8	4	0
小計	214	195	91.1	7,922	37.0	15,455	72.2	8	3	
合計	909	772	84.9	29,420	32.4	58,018	63.8	308	244	
環境情報学部	環境情報学科	214	152	71.0	1,774	8.1	3,496	16.0	19	0
大学院環境情報学研究科	環境情報学専攻	8	7	87.5	816	68.0	1,589	132.4	1	0
環境情報学専攻	留学生	4	1	25.0						
留学生		4	0	0.0						

平成14年度就職内定先企業 / 資本金順上位50社(平成14年12月2日現在) 数値は就職内定者数

工学部・大学院工学研究科					環境情報学部・大学院環境情報学研究科						
東京電力	1	NTTデータ	2	ミネベア	1	ソニー	1	野村総合研究所	1	テクモ	1
日産自動車	1	ブリヂストン	2	豊田自動織機	2	富士通	1	センコー	1	共同印刷	1
NTTドコモ	1	ススキ	3	沖電気工業	2	日立製作所	1	セイノ・インテック	1	東急エージェンシー	1
ソニー	4	京セラ	1	NSK	1	NEC	1	明電舎	1	キユーシー流通システム	1
トヨタ自動車	2	大日本印刷	2	セコム	2	松下電器産業	1	小糸製作所	1	日立ビネスソリューション	1
富士通	1	大和ハウス工業	1	村田製作所	3	アサヒビル	1	日立情報システムズ	1	日立システムソリューション	1
日立製作所	8	凸版印刷	4	石川島播磨重工業	2	キヤノン	1	NECシステム建設	1	CRCソリューションズ	2
東芝	5	リコー	1	鹿島建設	5	NTTデータ	1	すかいらーく	1	エスビー食品	1
三菱重工業	2	三菱マテリアル	1	いすゞ自動車	1	CSK	2	アイケー	1	アジア航測	1
NEC	5	大成建設	4	SMC	4	セコム	1	大塚商会	1	サンワテクノス	1
松下電器産業	2	本田技研工業	8	大林組	1	日立カウティング	1	ニトリ	1	ぎょうせい	1
JR東日本	2	富士重工業	5	長谷工コーポレーション	1	アイネス	1	日彩システムデベロップメント	3	シグマ	1
積水ハウス	2	清水建設	2	日立造船	1	武富士	1	ニール	1	大塚家具	1
三菱電機	4	日野自動車	3	竹中工務店	1	住友林業	1	H.L.S.	1	佐川急便	1
日本燃焼	1	全日本空	1	プロミス	1	三和シヤッター工業	1	ASK PLANNING CENTER	1	インクルメントP	2
キャノン	7	日本通運	2	バイオニア	3	戸田建設	1	日本医療事務センター	1	日本環境認証機構	1
三菱自動車工業	8	CSK	1			日本オラクル	1	プレス工業	1		

平成14年度卒業見込者に対する都道府県別求人数および就職内定者数

(平成14年12月2日現在) 都道府県名の横の数字は求人数で、()内の数字は就職内定者数を示す。





就職活動スケジュール

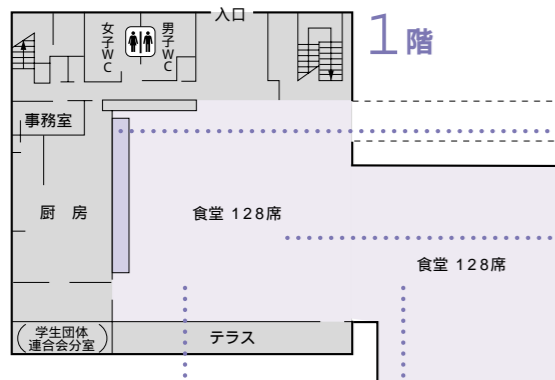
工学部		進路・勉強方法を考える	進路についてより具体的に考える	就職・進学活動の本番です
学年	1・2年生	3年生	4年生	
公務員等	[全学年対象]	11月 公務員ガイダンス及び講座説明 12月 公務員試験受験対策講座 12~6月 公務員試験模試		
民間企業	7月 就職講演会 1・2年生対象 11月 進路適性検査 1年生 (進路・就職指導 支援プログラム)	10月 各学科就職ガイダンス(第1回) 適性検査(職業適性・情報処理適性) 11月 Uターン就職ガイダンス(第1回) 就職講演会(就職活動全般) " (自己分析) " (業界研究) " (エントリーシート・論文) 11月~1月 就職試験対策(SPI・論文) *自己分析・筆記試験対策 12月 *業界・企業研究、エントリー 1月 各学科就職ガイダンス(第2回) 2月 就職試験対策(一般常識・SPI・履歴書) " (模擬面接) 公開模擬面接 Uターン就職ガイダンス(第2回) 3月 就職試験対策(一般常識・SPI) 学内企業研究会	4月 各学科就職ガイダンス(第3回) 就職試験対策(模擬面接) *学内での希望調査及び推薦書決定 4~6月 *採用試験(3月から開始の企業あり) *採用内々定 10月 採用内定 学内での採用内定報告手続	
本学 大学院 進学		4月 進学予定者対象の進学説明会 図書館などで大学院の各専攻内容や 入試問題等を検討	4月 進学予定者対象の進学説明会 5月 推薦入学募集要項入手・願書提出 6月 推薦入学試験 8月 学生募集要項入手・願書提出 9月 第1次入学試験 2月 第2次入学試験	
他大学 大学院 (海外留学)		7月~ 他大学または留学先より資料を取り 寄せ情報収集活動	4月 指導教授と相談の上、進学先の検討 入学試験	
自己の適性に基づいて家庭で協議				
環境情報学部		進路・勉強方法を考える	進路についてより具体的に考える	就職・進学活動の本番です
学年	1・2年生	3年生	4年生	
課外講座等	6月 課外英会話講座 課外講座オリエンテーション	8月 基本情報7日間集中講座 初級シニア5日間集中講座	9月 公務員・民間就職試験準備対策講座	
民間企業	4月 自己発見レポート (1年生) 自己プロgresレポート (2年生) 就職講演会 (1・2年対象ガイダンス) 課外講座 オリエンテーション 8月 基本情報7日間 集中講座 初級シニア5日間 集中講座 9月 公務員・民間就職 試験準備対策講座	4月 就職ガイダンス (就職準備) 留学生就職準備ガイダンス 就職講演会 (オープニングセミナー) 5月 職業適性検査 6月 模擬テスト(一般常識) 模擬テスト(SPI) 就職ガイダンス(就職活動アドバイス) 7月 就職講演会 (業界・職種研究) 就職ガイダンス (就職準備ガイダンス) 9月 就職講演会 (就職環境と就職活動) 就職ガイダンス (就職準備) 模擬テスト(経済常識)&講演会 就職希望面談(3年生全員) 模擬テスト(一般常識) 模擬テスト(SPI) 10月 就職特別講演 就職総合(キャリアガイダンス) 就職特別講演 自己分析セミナー 就職特別講演 エントリーシート対策セミナー 就職実践模試「START」 就職適性検査「CAREER FOCUS」+自己PR作成シート リクルートファッション&メイク講座 就職体験報告会 エントリーシート攻略テスト 11月 学内業界研究会(各業界代表的企業を招聘) 12月 模擬テスト(一般常識) 模擬テスト(SPI) 面接対策セミナー(公開模擬面接) 就職講座(論文講座) 就職講座:履歴書作成対策(自己表現テスト) 模擬テスト(情報処理適性検査) 2月 就職ガイダンス (就職直前) 模擬テスト(SPI) 学内企業研究会 就職講座:履歴書作成対策(自己表現テスト) 就職講座(論文講座) 3月 模擬面接講座(面接、グループディスカッション指導) *採用試験	4月 学内での希望調査及び推薦書決定 就職ガイダンス(求人状況・活動心得等) 6月 就職ガイダンス(未定者ガイダンス) 7月 学内企業研究会 *採用内々定 10月 採用内定 学内での採用内定報告手続	
本学 大学院 進学		4月 進学予定者対象の進学説明会	4月 指導教授と相談の上、進学先の検討 入学試験	
他大学 大学院 (海外留学)		7月~ 他大学または留学先より資料を取り寄せ情報収集活動		
自己の適性に基づいて家庭で協議				

環境情報学部のある横浜キャンパスは、最先端の情報機器類を完備し、環境に配慮するさまざまな新しい試みを取り入れられています。そんな“次世代型キャンパス”の各施設の中、学生たちの利用頻度が高くなる場所と言えるのが、教室&研究室のある3号館と、学生食堂のある4号館。実際にどんな内容となっているのか、写真とともにお伝えいたしましょう。



4号館(食堂棟) お洒落で明るい雰囲気。ついつい長居しちゃうかも？

1階がレストラン、2階が学生ホールとなっている4号館。自然光がたくさん降り注ぐように設計されており、従来の学生食堂のイメージとは趣を異にしています。また両フロアともYC-CAT(横浜キャンパスCATVネットワーク)によるケーブルTV放送が楽しめる、情報コンセントも設置しています。



料理を運ぶのはセルフサービス。いつも一番混むのは日替わりランチのカウンター。もちろん料理の後かたづけもセルフです。



1階レストランは便利なプライベートカード制。食券も販売しています。



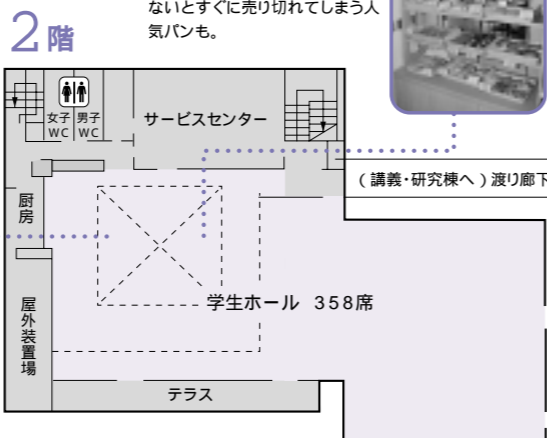
味、ボリュームともに大満足と答えてくれた新田絃子さん(環境情報2年・写真中央)。「お気に入りのメニューは血うどん。たまにしか出ないので、ぜひ定番化して欲しいな」



お弁当の持ち込みもOK。留学生の金萬福君(環境情報学研究所1年・左から2人目)たちは自分たちで作ったオカズを持ち寄り、つきあっていた。エライ!



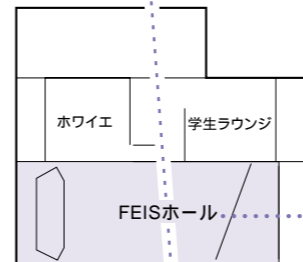
2階の学生ホールに併設される“フードコンビニ”。おにぎりや菓子類・コーヒーなどの軽食を販売。



“フードコンビニ”で販売されるパンは、そこらのパン屋さんのものよりおいしいと評判。早く行かないとすぐに売り切れてしまう人気パンも。

3号館(講義・研究棟) 21世紀型の教育を行う横浜キャンパスの中心的存在

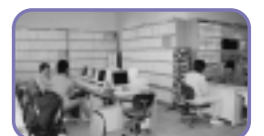
地下2階、地上7階からなる3号館の中には、一般の教室はもちろん、マルチメディア機器や情報ネットワークをふんだんに利用した、環境情報学部ならではの施設が数多くあります。学生たちのキャンパスライフをサポートする学務課や、就職活動の強い味方となってくれる就職資料室もこの棟の中。まさに横浜キャンパスの中心を担う建物だと言っても過言ではないでしょう。



170インチスクリーンに投影できる大型プロジェクターと、7.1サラウンドの音響システムなどを装備する「FEISホール」。大教室として使う以外にも、さまざまなイベントなどにも利用されています。



各座席には引き出し式の机が備えられ、YC-NET(横浜キャンパスコンピュータネットワーク)に接続できる情報コンセントも装備。



求人情報や、過去の就職関連情報がストックされている就職資料室。学生たちはいつでも利用することができます。就職面談もこの部屋で行います。



眞田 悦志君・環境情報2年
 「ここまで最先端の情報機器を揃えたキャンパスって日本では他にないんじゃないかな」



吉田 圭君・環境情報2年
 「W杯のとき、特別にFEISホールで日本代表チームの試合を中継してくれたんですよ」



小山 薫子さん・環境情報2年
 「今はメディア演習室で授業の課題をやっているところ。自由にインターネットが使えるところがいいな」



五感を使ったフィールドワークと器具を使った計測を体験して、環境を科学する方法を学ぶ「フィールド演習室」。



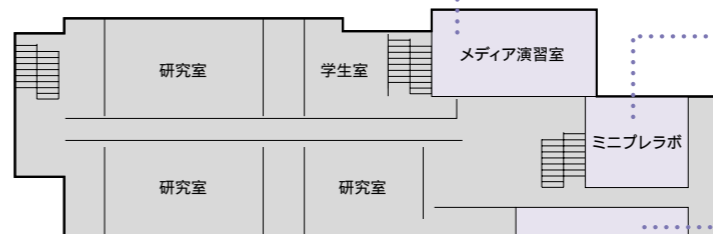
学生諸君が何かとお世話になる学務課。「ここは教務課・学生課・就職課の機能を備えています。困ったこと、相談したいことなどがあったら、気軽に声をかけてもらいたいですね」(学務課事務員の水上さん)。



主に情報リテラシー演習の授業で使われる「メディア演習室」。70台の高性能パソコンを設置し、高度なマルチメディア編集が行えるほか、自由にインターネットを利用できます。



マルチメディアを駆使した新しいスタイルの会議やプレゼンテーションを学ぶ「ミニプレゼンテーションラボ」。ここでの会議の様子は、FEISホールなどの他教室に中継でき、ネット配信も可能です。



「グループワークルーム」。個人ではなく、5~8人ほどのグループでひとつの課題に取り組む際に利用します。



クラブ活動紹介 ②0



旅好き、自転車好きが集まった世田谷キャンパスの「サイクリング部」と、肩肘張らずカメラと接している姿勢が好感を持てる横浜キャンパスの「写真サークルナンシー」。

今回はこの2団体取材し、日頃の活動内容を聞きました。

自転車のスピードだから出会える風景がある！

サイクリング部



♣ 男鹿にて

顧問：手塚 貴晴(建築学科教員)
学生責任者：長谷川 寛(電気電子3年)
部員数：15名

主な活動

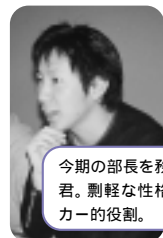
- 4月 新入生歓迎ラン
- 5月 新入生歓迎コンパ / 月例ラン
- 6月 プレキャンプ / FO会議
- 7月 前期納会 / 月例ラン
- 8月 夏季合宿
- 9月 耐久ラン
- 10月 月例ラン
- 11月 MI-TECH祭 / OB会 / 月例ラン
- 12月 CM会議 / 忘年会 / クリスマスラン
- 1月 後期納会
- 2月 スキー旅行
- 3月 追い出しラン / 春季合宿

♣ 毎月一度はツーリングの日 ワインディングを自力で駆け抜ける

世田谷キャンパスに本拠を置くサイクリング部の発足は、約30年前。当時の若者たちの間で自転車で日本全国各地を旅することが流行っていましたが、武蔵工大にもそんな“自転車野郎”たちが少なからずいた模様。彼らが自然に集まり、頻繁にツーリングに出かけていたことが創部のきっかけのようです。以来、多くのOBたちが連綿と歴史を守り続け、現在では週1回のミーティングと、月1回のツーリングを基本的な活動としています。「水曜日に集まって今月はどこに走りに行こうかと相談し、それを都合のいい日曜日に実行するという感じ。普通の体育会系の部と比べたら、活動内容はずっとゆるいと思いますよ」(長谷川寛君・電気電子3年)。

「いえいえ、彼らの実行するツーリングの内容を知れば、とても“ゆるい”なんて表現することはできません。そのときどきによって変

化しますが、走行距離は60km以上に及ぶことがほとんど。しかも山アリ、谷アリのワインディングロードを走ることが多く、相当肉体的にはハードなはず。新入生が入ってすぐに行う4月の「新歓ラン」でさえ、今年は65kmもの距離を走ったそうです。「なれないうちはそりゃあちょっとキツイかもしれませんが、こんなのはボくらにとっては普通。たいてい現地まで自転車を電車で運び、走り終わったらまた電車で帰ってくるというパターンなんです。電車に乗るのが面倒臭いからって、行き帰りをすべて自走するヤツもいるくらいですよ」(長谷川君)。



今期の部長を務めた長谷川寛君。割軽な性格でムードメーカー的役割。

恒例の夏合宿では 今年は700km以上を走破

長谷川君が毎月1回のツーリングを普通だと言うのには、理由があります。彼らは夏休みになると、なんと総走行距離が400km以上にもなる夏合宿を実施。ちなみに今年は東北を12日間にわたって駆け抜けました。新宿～秋田間こそ電車だったものの、大館、弘前、青森、夏泊半島、下北半島、恐山、大間崎などなどのスポットまですべて自走。しかもその間、民宿などには一切泊まらず、キャンプ、そして自炊で乗り切りました。「予定は460kmくらいだったんですが、結局700kmくらい走ったんじゃないかな。走っていると、どうしてもあっちこっち寄り道したくなっちゃうんですよ。でもそういうところもまた旅の醍醐味。ボクらは自転車好きであるのと同時に、旅好きでもあるんです」（電子情報4年・渡辺君）

夏合宿以外にも、サイクリング部には恒例としている大きなツーリングイベントがいっぱいあります。夏合宿の予行を兼ねて行うプレキャンプ（富士山周辺を3日間にわたって走り、最後には富士山5合目までのタイムトライアル付き）、日本橋から直江津までをノンストップで走る耐久ラン（深夜12時頃に日本橋をスタートし、直江津につくのは次の日の夜7時くらい）などなどが用意され、まさに年間を通して走りっぱなしという感じ。自転車や旅が好きなのはわかりますが、正直言って辛いと感じることもあるのでは？「たしかに辛いと感じる瞬間もあります。ただゴールしたときの達成感がめちゃくちゃでかいから、やめられないんですよね。こんなことって学生時代にしか絶対にできませんから、



秋田駅前にて

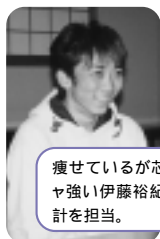
ツーリングに行くのがホントに楽しみです」（伊藤裕紀君・電気電子1年）、「3年生のときの夏合宿では北海道に行ったんです。そのときにあらためて気づいたのが、自転車のスピードだからこそ出会える風景があるということ。実は道路の脇の森に、子鹿が潜んでいるのを発見したんです。クルマやオートバイだと一瞬にして過ぎ去ってしまって、絶対に気づくことがなかったでしょうね。僕たちは自転車に乗ることで、いい経験をしてると思います」（堀田智之君・電子通信4年）

彼らの言葉を聞いていると、その充実した学生生活がうらやましく思えてくるほど。アルバイトすれば誰もが容易に海外のリゾートに出かけることができる現代に、こういうタイプの学生がいることを頼もしく感じます。ただし、ちょっぴり気になったのが、彼らがクリスマスにまでツーリングを用意していること。彼女との予定がある人は不参加でもいいということですが、なぜか毎年、非常に参加率が高いそうです。

大丈夫。キミたちのロマンをわかってくれる女性は、きっとそのうち現れます。いまは日本全国津々浦々を自転車で巡り、どんないい経験を積んでください。



先輩にも一目置かれるほどマジメな性格の鈴木将之君（電気電子1年）



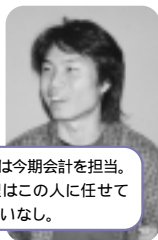
痩せているが芯はめちゃくちゃ強い伊藤裕紀君。来期は会計を担当。



根っからのしっかり者。部員一同が多大な信頼を寄せる渡辺豊君。



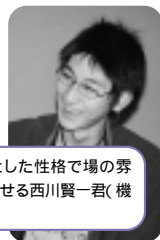
中山義夫君（電子情報2年）は次期部長。猪突猛進タイプだが方向音痴。



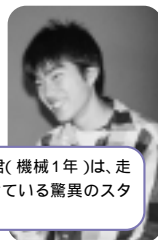
堀田智之君は今期会計を担当。お金の管理はこの人に任せておけば間違いなし。



メカニックの有実株？石岡賢君（機械システム1年）。



のほほんとした性格で場の雰囲気をも和ませる西川賢一君（機械1年）。



柳川権治君（機械1年）は、走りが図抜けている驚異のスタミナ男。



何よりも大切なのは写真を楽しむこと！

写真サークルナンシー



MI-TECH横浜祭にて

顧問：川村 久美子(情報メディア学科 教員)

学生責任者：安西 和代(環境情報3年)

部員数：28名

主な活動

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 MI TECH横浜祭準備
- 6月 MI TECH横浜祭
- 9月 夏合宿 / 写真展準備
- 10月 写真展
- 3月 追い出しコンパ



アマチュア集団だけれど

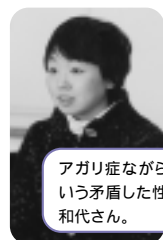
写真が好きなことでは負けてない

写真サークルナンシーのほとんどの会員が、このサークルに入ってから初めて本格的にカメラを扱うようになったと言います。「自宅にいる犬と猫の愛らしい表情を、美しい写真で残してあげたくて」(吉澤有紀さん・環境情報2年)、「うちに誰も使っていない一眼レフがあったのでもったいないと思ったから」(秋元裕子さん・環境情報1年)、「高校の水泳部のときに撮ってもらった泳ぎの写真がとっても鮮明だったから。一瞬の姿を切り取ることで面白いなと思って」(田村奈津子さん・環境情報2年)という具合に、入会の動機は実にさまざま。ですが、共通して言えるのは「将来カメラマンになりたい!」とか、「報道分野に進んでみたい!」という壮大な野望を抱いている人はいないこと。みんなごくごく軽い気持ちで集まっているようです。

とはいえ、撮影活動を名目に集まり、わいわい騒ぐだけの集団でないのももちろんのこと。みんなサークルに入ると、写真が持つ深い魅力に開眼、「もっと上手な写真を撮りたい」という気持ちが強く芽生えるようになります。腕前を披露する舞台である写真展も、横浜祭の展示を含め、年に数回開催。実は取材にうかがったときも、間近に写真展が控えていました。今回は、横浜・桜木町にある「みなとみらいギャラリー」を12月14日、15日の2日にわたって借り切って行う予定。テーマは佐藤瑞華さん(環境情報3年)のアイデアをもとに決まった「冬のバカンス」。会員たちはイメージネーションを働かせ、期日までにこの

テーマに即した作品を仕上げなければなりません。「一人最低1点がノルマ。テーマはどのように解釈してもいいし、白黒、カラーのどちらでもOK。サイズもとくに制限はありません。でも、これだけ自由だと、逆に難しいんですよ。まだ誰からも出展する作品が仕上がったという言葉を聞いていません(笑)」(佐藤さん)。「写真は非常に個人的な作業。だからみんながどんな作品を持ってくるのか、直前までわからないんですよ。だから当日がすごく楽しみ。自分の写真の刺激にもなります」(小林礼奈さん・環境情報2年)。

テクニックの向上を目指してはいるけれど、それより先楽しく写真を撮ることに主眼を置くサークルゆえ、こうした写真展において、会員同士がお互いの作品を批評しあうようなことはしていません。しかし、やはりいい作品に対しては、自然と賛辞の言葉が集まるそうです。「会場には来客者用のアンケートを置き、好きな作品名と気に入った理由、さらに写真展全体の評価などを書いてもらっています。これだけこう励みになるんですよ」(佐藤さん)。

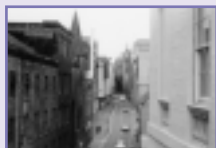


アガリ症ながら、出たがり、という矛盾した性格を持つ安西和代さん。

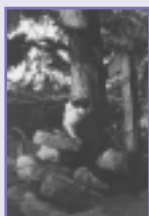
PHOTO GALLERY



「アクセント」秋元裕子



「道」小林礼奈

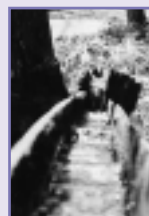


「秋」田村奈津子

「カラフル」安西和代



「学祭」吉澤有紀



「流れ」新部伊織

📌 今後は同好会ならではの アットホームな雰囲気大切に

横浜キャンパスに写真サークルナンシーが誕生したのは、環境情報学部が設立して2年目のこと。だからまだ5年ほどの歴史しかありません。ナンシー(とくに意味はないそうです)という名前のせいか、代々女性会員が多く、部長もずっと女性が担当してきました。しかし来期の部長は安西和代さん(環境情報3年)からバトンタッチした新部伊織君(環境情報2年)。6年目にして初めて生まれた男性部長です。「初の男性部長だからと言って気負ってる部分はまったくありません。創立以来、活動を続けてきたナンシーの勢いを止めたくないだけです」と、淡々と語る新部君ですが、来年から写真サークルナンシーは、写真同好会ナンシーへと生まれ変わります。これは大学側が、彼らの活動内容をサークル以上と認めた結果。内心ではきっと、今まで以上に充実した活動スケジュールを立てるつもりなのではないでしょうか?「正直言って微妙なところですね。というのも、世田谷キャンパスに写真部があるから。彼らは撮影テクニックや、カメラのメカニズムのことを非常に深く勉強しています。そんな彼らと同じことを目指そうとしたら、ボクらの存在意義がない。部は部のいいところがあるし、同好会は同好会のいいところがある。厳しくするよ!元、和気あいあいとした雰囲気の中で、み

んながもっと写真を好きになってくれるようになるといいなと思っています。(新部君)

この意見については前部長の安西さんも賛成だと言います。「同好会になったからと言って派手なことをするんじゃなく、できることから始めていければいいと思う。たとえば、写真展の回数を増やすんじゃなく、キャンパス内の廊下の一部に展示スペースを設け、そこに週代わりでみんなの作品を飾っていくなんてことでいいと思うな。(安西さん)

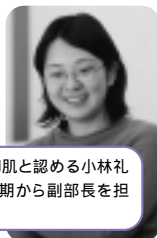
肩肘張らず、ほどよい距離で写真と接している彼ら。安西さんの言葉が実現し、彼らのどこまでも自然体な作品が横浜キャンパスにちょっとした彩りを添えてくれる日が来たら、とても素敵だと思うのですが……。



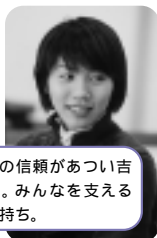
発想豊かな佐藤瑞華さん。写真展のテーマを考えるのはいつも彼女。



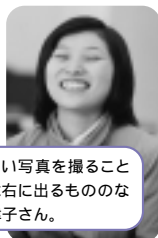
初の男性部長である新部伊織君。実は女性陣にやや押しされ気味?



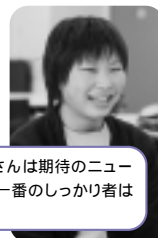
誰もが姉御肌と認める小林礼奈さん。来期から副部長を担当します。



みんなからの信頼があつい吉澤有紀さん。みんなを支える縁の下の力持ち。



かわいらしい写真を撮ることにかけては右に出るものがない田村奈津子さん。



秋元裕子さんは期待のニューフェイス。一番のしっかり者は彼女かも?

★ 後援会援助による1年次生の 進路・就職指導支援プログラムの 実施について

就職課長 小久保 善生

バブル経済崩壊の1992年度以降、少しずつ上がり続けていた完全失業率は、2001年7月に1953年の調査開始以来はじめて50%を超え、その後未だに改善の兆しは見られません。長引くIT不況、国内生産拠点の空洞化、製造業の雇用喪失など企業にとって景気・雇用環境は厳しくなっています。採用活動をみれば年々早期化し、採用基準も高く、厳選採用になっているのが現状です。

これらの就職環境から、去る11月12日、11月13日、11月15日(世田谷キャンパスで実施)、11月19日(横浜キャンパスで実施)に後援会援助による就職関係行事として、1年次生向けの支援プログラム「自己発見レポート」検査を実施しました。後援会援助による就職関係行事としては、平成12年度から「日経経済常識模擬試験」を実施していますが、今回の「自己発見レポ



★「自己発見レポート」検査受検風景

ート」検査は、個人の強みを「性格の傾向」・「社会的強み」・「職業興味」・「学習スタイル」・「能力」・「進路準備の成熟度」の各項目毎に分析を行い、この診断結果により、早期からの自己理解、学生生活の目標設定を考えるための機会を与えるためのものです。受検者数は、工学部では699人(受検率は74.7%)、環境情報学部は413人(受検率87.5%)でした。

今回の1年次生向けの支援プログラムの結果につきましては、今後の低学年進路・就職指導に活用し、将来の目標達成への指導・支援をさらに充実させていきたいと考えております。最後に、このたびの支援プログラムの導入に関し、ご援助賜りましたことに感謝申し上げます。今後とも本学の進路・就職指導に関しまして、ご理解・ご協力の程をお願い申し上げます。

★ 新企画いっぱい 第73回MI-TECH祭、 世田谷キャンパスで開催!

第73回MI-TECH祭実行委員会 委員長
棚木 良規(建築2年)

平成14年11月22日～24日、世田谷キャンパスにおいて第73回MI-TECH祭が開催されました。テーマは「兆」。今だからこそ、この言葉の持つ可能性を表現してみました。

初日は、開祭式に続いて演武会、ハンド大会などが行われましたが、平日だったせいもあり来場者数が伸びず、いまひとつ盛り上がり欠けてしまいました。2日目はミス武蔵工大コンテスト、タレントを招いてのトークショー、DJ festival、Jazz festival、ストリートパフォーマンスと盛り沢山の内容で、どの企画も大盛況でした。3日目はプラスステージ、体育会そしてM.F.A.の企画イベントなどを予定していましたが、あいにく天候に恵まれず、ステージ企画が教室内に移されたり中止になったりしてしまいました。しかし大きなトラブルもなく開祭式、後夜祭を迎えることができま



した。教室内の各団体の展示・発表等も順調に行われました。

今年は世田谷キャンパス体育館が工事中で、毎年行われるコンサートができず、また模擬店の出店数も大幅に減りましたが、新しい企画として2日目と3日目にA地区・B地区間の道路で歩行者天国が行われました。この他にも新しい企画があったのですが、残念ながら立地条件や様々な制約により実現できなかったものもありました。

このようにM.F.A.をはじめ私たちMI-TECH祭実行委員会、各参加団体は、新しい企画・展示に挑戦してきたという事実のもとに燃焼することができました。来年は新しい体育館も完成します。今年の経験と反省を糧にして次のMI-TECH祭につなげていきたいと思っております。



☆ 武蔵工業大学創立75周年記念イベント

「小学生・中学生の大学で楽しむ科学体験教室」「ハンドメイド電気自動車レース(HM-EVR)2002」が実施されました!

武蔵工業大学は平成16年に創立75周年を迎えます。後援会も様々な形で記念事業等に協力しておりますが、このたび記念事業として2つのイベントが夏休み中に開催されました。

小学生・中学生の大学で楽しむ科学体験教室

平成14年8月24日(土)に武蔵工業大学世田谷キャンパスにおいて、当初の想定参加者数の二倍を超える600人以上の小・中学生や父母の参加により開催され、本学の教員や学生が、様々な実験テーマ(「ふくらむ風船 ちぢむ風船」「作った電池でモータをまわす」「自分の測量器械を創ろう!」など)を通して、子供たちに自然現象や物理・化学現象の不思議さ面白さを体験してもらいました。



ハンドメイド電気自動車レース(HM-EVR)2002

8月31日(土)に産業技術総合研究所つくば北の周回路で開催されました。関東甲信越の高等学校を中心に22チームが「自慢の手づくり電気自動車を持ち寄り、2時間のうちに3200メートルの周回路を何周できるかを競いました。(優勝チームは2時間で18周を走破)。レース終了後は、各チーム同士が技術に関する工夫や苦勞について意見交換を行うなど、大いに友好を深めました。



☆ 体育会ヨット部試乗会

毎年恒例となった本学ヨット部の試乗会が今年も9月1日から8日にわたり、神奈川県三浦市の油壺で開催されました。多くの一般の方を含む45名の参加をいただき、日ごろあまり表に出ることのない武蔵工業大学ヨット部の活動を理解していただくよい機会となりました。



☆ 鳥人間コンテスト選手権大会出場

本学航空研究部は、滋賀県の琵琶湖で7月27・28日に行われた読売テレビ主催の「第26回鳥人間コンテスト選手権大会」に8年ぶりに出場を果たしました。飛行記録は8.46mと不本意な結果に終わりましたが、この模様はテレビでも放映され、武蔵工業大学航空研究部の存在をアピールすることができました。



☆ 救急行政の推進への 貢献に対し、 玉川消防署長より 感謝状が授与されました。

本学では課外活動や研究活動上での事故を未然に防止し、より安全な活動を運営するために、学生部が主催となり、各団体へ救命安全講習会への参加を義務づけています。またMI-TECH祭実行委員会では、学園祭でのアルコール等の事故防止のために参加団体に対して同様の参加を義務づけています。このような大学一丸となった日常的な救命に対する積極的な姿勢が評価され、平成14年9月9日(月)に玉川消防署長より大学に対し、感謝状が授与されました。

平成14年度緊急奨学金

平成14年度緊急奨学生として2名が採用されました。

課外活動短評

- 鉄道研究部 —— 「電車とバスの博物館さよならイベント」においてNゲージ運転会を実施。2日間で1,500人もの方が来場し、大変好評を得た。
- 空手道部 —— 全国空手道選手権大会において、加藤淳士君(機械2年)が、個人有級の部で優勝を果たした。
- ラグビー部 —— 昨年に引き続き、関東理工系大学リーグ戦優勝、全国地区対抗ラグビーフットボール大会予選において優勝し、全国地区対抗大会への8年連続13回目の出場権を獲得した。
- ハンドボール部 —— 関東学生ハンドボール連盟春季リーグ戦において、菊地辰矢君(機械2年)が得点王(76/206)となった。
- 硬式庭球部 —— 関東理工系系大学団体リーグ戦大会において、男子2部リーグ1位となり、1部昇格を果たした。また、女子も11部リーグ1位となり、10部昇格を果たした。
- 準硬式野球部 —— 新関東大学準硬式野球リーグにおいて、原史英君(機械3年)が、2部リーグ最優秀投手となった。
- 陸上競技部 —— 関東理工系系系大学陸上競技大会において、男子110mハードル1位となった。
- 機親会 —— 第13回日本省エネカー研究会燃費競技会において、優秀賞を受賞した。

事務局便り



学生部副部長 湯本雅恵

平成14年4月から工学部の学生部副部長に就任し、後援会の事務局をお手伝いさせていただくことになりました。学生部関係の仕事は初めてであり、まだ戸惑うことばかりですが、精一杯努めさせていただく存でおりますので、よろしくお願いたします。

平成14年から後援会には全員が加入する体制を整えました。したがって、従来の活動のあり方をさらに検討し、新たな取り組みも始めなければいけない段階と存じます。最近の学生は幼児化が顕著で、精神的にひ弱になっていることを日頃から強く感じております。また、昨今の経済情勢から、就職も厳しい時代となっており、この様な状況の中で、学生を実力のあるたくましい青年に育て、社会に送り出すためには、大学側の学生に対する支援システムを一層充実させるのは当然ですが、たくまさを育てるには、課外活動の位置づけが今まで以上に大きくなるものと思われまます。

今年も課外活動では大きな成果を上げました。これらの活発な活動は、これまでの後援会のご支援の賜物であり、深く感謝するとともに、今後とも一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成14年度 「大学と父母との連絡会」について

平成14年度の「大学と父母との連絡会」は7月13日(土)沖縄の那覇市を皮切りに、9月28日(土)の東京・横浜地区までの間、全国26会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地において評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

会場別出席者数(対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席者数 (世帯数)
札幌	9月14日(土)	札幌東急イン	8
青森	9月14日(土)	ホテルJALシティ青森	4
仙台	9月15日(日)	ホテル仙台プラザ	21
郡山	9月14日(土)	ホテル ハマツ	17
宇都宮	9月15日(日)	関東チサンホテル宇都宮	23
水戸	9月14日(土)	ホテルシーズン	18
東京	9月28日(土)	武蔵工業大学 世田谷キャンパス	379
横浜	9月28日(土)	武蔵工業大学 横浜キャンパス	131
高崎	9月15日(日)	ホテルメトロポリタン高崎	10
新潟	9月14日(土)	ホテルイタリア軒	15
長野	9月 8日(日)	ホテル国際21	11
松本	9月 7日(土)	ホテルニューステーション	10
甲府	9月 7日(土)	ホテル談露館	21
静岡	9月 8日(日)	ホテルアソシア静岡ターミナル	59
浜松	9月 7日(土)	オークラアクティホテル浜松	23
富山	9月 8日(日)	名鉄トヤマホテル	16
金沢	9月 7日(土)	金沢エクセルホテル東急	12
名古屋	9月14日(土)	名古屋国際ホテル	18
京都	9月15日(日)	新・都ホテル	10
徳島	9月 8日(日)	阿波観光ホテル	5
高知	9月 7日(土)	オリエントホテル高知	12
岡山	9月 8日(日)	岡山国際ホテル	12
広島	9月 7日(土)	リーガロイヤルホテル広島	12
福岡	9月 8日(日)	ホテルセンターザ博多	14
大分	9月 7日(土)	大分第一ホテル	8
那覇	7月13日(土)	ホテル西武オリオン	9
合 計			878

都道府県別出席者数

都道府県名	出席者数 (世帯数)	前年度出席者数 (世帯数)
北海道	8	8
青森	3	1
岩手	2	2
宮城	14	12
秋田	2	4
山形	2	1
福島	22	15
茨城	30	25
栃木	27	17
群馬	14	13
埼玉	37	43
千葉	42	23
東京	155	118
神奈川	233	168
新潟	17	13
富山	18	12
石川	11	10
福井	2	1
山梨	23	20
長野	23	21
岐阜	3	4
静岡	90	67
愛知	15	10
三重	2	2
滋賀	2	2
京都	6	3
大阪	1	2
兵庫	0	2
奈良	0	1
和歌山	1	0
鳥取	2	1
島根	1	3
岡山	7	6
広島	14	7
山口	1	4
徳島	4	2
香川	4	1
愛媛	0	9
高知	10	9
福岡	9	12
佐賀	2	0
長崎	0	1
熊本	1	0
大分	8	0
宮崎	1	10
鹿児島	0	3
沖縄	9	8
その他	0	0
合 計	878	696

発行 武蔵工業大学後援会

〒158 8557 東京都世田谷区玉堤1 28 1 武蔵工業大学内 後援会事務局 TEL.03(3703)3111 内線(2187) FAX.03(5707)1160
ホームページ <http://www.comm.musashi-tech.ac.jp/kouenkai> メールアドレス mkoenkai@adm.musashi-tech.ac.jp